

患者さんへ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 壊死性血管炎におけるプログラム細胞死の役割

[研究代表者名・所属] 市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕

[研究の背景と目的]

腎臓の糸球体疾患は様々な原因によって腎臓に炎症や障害が起こりますが、病気の機序についてはまだ良く分かっていないことが多く、現在も多くの研究が行われています。この研究では、腎病理診断を行った後に残った腎生検検体の一部をご提供いただき、腎臓における壊死の病態を評価することで、病気の機序を明らかにして、治療法の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

1. 対象となる患者さん

2000年1月1日～2023年12月31日の間に当院で腎病理診断を受けられ、血管炎、SLE、微小変化と診断された方。

2. 利用するカルテ情報

- ・患者背景：年齢、性別、診断名、体重、疾患活動性スコア、合併症。
- ・血液学的検査：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数
- ・血液生化学的検査：肝機能、腎機能、血算、尿検査、CTでの全身臓器評価
- ・腎生検時の内服薬、血圧などの身体所見

3. 利用するその他の試料

- ・腎凍結切片検体ならびにパラフィンブロック検体
(過去に診断目的に採取され、検査終了後から現在まで当院で保存されているものを用いさせていただきます。)
- ・病理プレパラート
- ・電子顕微鏡画像

[研究実施期間]

実施許可日～2023年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡窓口]

〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1
市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕
電話：011-726-2211 FAX：011-726-9541